

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	ベースラインの腎機能と尿蛋白量および初期治療別にみた 2 年後までの尿蛋白排泄量と腎予後の関連についての検討 ～J-IGACS の二次研究～		
1. 研究の目的と方法	<p>IgA 腎症患者さんの 2 年後の腎機能が保持されることを予測しうる外来通院中の尿蛋白定量を明らかにすることを目指します。目標とする尿蛋白定量が明らかになることで、患者医師の共通の短期目標を共有する診療が可能となります。J-IGACS 一次研究（受付番号 16-174[4402]「IgA 腎症の腎病理所見と予後の関連に関する前向き多施設共同研究」）の全症例を対象として、診断時の腎機能や尿所見、治療法（口蓋扁桃摘出術ステロイドパルス併用、ステロイドパルス単独、保存的加療）別に診断時から 2 年後まで半年ごとの尿蛋白量と腎機能悪化の関連性について評価します。</p> <p>一次研究の J-IGACS で、患者さんの個人名、生年月日が切り離され、症例研究番号で情報が固定されたデータをデータ管理業務を受託している EP 山梨株式会社より受け取り解析を行います。</p>		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	一次研究の J-IGACS（受付番号 16-174[4402]「IgA 腎症の腎病理所見と予後の関連に関する前向き多施設共同研究」）に同意をし、参加をされた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査）、治療内容、腎組織所見	
	(4) 情報の取得の方法	一次研究の J-IGACS（受付番号 16-174[4402]「IgA 腎症の腎病理所見と予後の関連に関する前向き多施設共同研究」）で取得され、すでに加工されているデータを二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科学講座	
		氏名 清水昭博	
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科学講座 小池健太郎	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年10月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科学講座 研究責任者：助教 清水昭博（しみずあきひろ） 窓口担当者：助教 清水昭博（しみずあきひろ） 電話番号：04-7164-1111（内線 3221） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。